

感染症発生状況

平成30年1月10日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年1月4日（木）～1月5日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 115名

1日あたりの延べ欠席者数 58名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 60名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では 熱（53名）、咳・鼻水（14名）、充血（目やに）（4名）、嘔気・嘔吐（3名）

疾病ごと インフルエンザ（15名）、気管支炎・肺炎（2名）、胃腸炎（2名）、

突発性発疹症（1名）

年末年始を挟み大きな感染症の流行はありません。

しかし、その中でインフルエンザの流行が気になります。今後、学校が始まると、流行が保育園を巻き込んでのものとなりそうです。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 玉山，厨川，盛南，河南地域で発生しました。

気管支炎・肺炎 河北地域で発生しました。

胃腸炎 河北地域で発生しました。

突発性発疹症 盛南地域で発生しました。

【県の状況（12/25～12/31）】

インフルエンザは前週より増加しました。宮古及び釜石地区と盛岡市では、注意報値（定点当たり患者数10人）を超えています。年齢層別では60歳以上の割合が増加しました。また、県環境保健研究センターが実施したウイルス検査ではA/H3（香港型）、A/H1pdm、B型（山形系統）の3種類が検出されました。症状がある場合は早めに受診することが勧められます。手洗いやワクチン接種による予防と、咳エチケット（咳をする際は他の人から顔をそむけティッシュやハンカチで口を覆う、有症者自身がマスクをする）による感染拡大防止が重要です。

溶連菌咽頭炎は盛岡市で警報値（同8人）を超えています。主な症状は発熱や全身倦怠感、咽頭痛ですが、肺炎や腎炎などの合併症を引き起こすこともあるので、治療の際は医師の処方に従い抗菌薬を飲みきることが必要です。予防には手洗いやうがい、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

海外へ渡航し、帰国後に体調が悪くなった場合は、受診の際に渡航歴を伝えることが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】